

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

岩手県地域セミナー 報告書

2020（令和2）年7月13日（月）に、スポーツ庁「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」岩手県地域セミナーが、下記の要領で開催されました。

【開催概要】

日時：2020（令和2）年7月13日（月）13時20分～16時00分

会場：県営武道館

主催：岩手県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：23名（推進校担当者16名、教育事務所指導主事7名）

プログラム：

13:20～13:30 開会挨拶

岩手県教育委員会事務局 保健体育課

総括課長 清川 義彦 氏

（代読：細田 多聞 氏）

13:30～14:30 オリンピック・パラリンピック教育とその進め方

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

研究員 岡田 悠佑 氏

14:30～14:40 休憩・移動

14:40～15:40 パラリンピック競技体験（ボッチャ、ゴールボール）

岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課

主査 佐藤 慎二 氏

（スポーツ振興専門員）

15:40～15:50 休憩・移動

15:50～16:00 情報提供

岩手県文化スポーツ部 オリンピック・パラリンピック推進室総務担当

主事 小野寺 洋 氏

15:50～16:20 意見交換・協議「自校のオリ・パラ教育の推進計画について」

推進校担当者

各地区教育事務所保健体育担当指導主事

16:20～16:30 連絡

開会行事では、岩手県教育委員会事務局の清川氏（代読：細田氏）より挨拶がありました。清川氏からは、推進校への感謝の言葉とともに、各学校・地域の特性を活かしたオリ・パラ教育実践を実現してほしい、と本事業への期待を述べられました。

次に、本センターの岡田研究員より、オリ・パラ教育とは何か、なぜオリ・パラ教育に取り組むことが求められるのかという内容から、オリ・パラ教育事業の概要、そしてオリ・パラ教育の実践事例や教材等について講義が行われました。オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の意義やオリ・パラ教育の重要性、そして具体的な計画の仕方や実践事例、教材等について情報提供が行われました。また、パラ教育教材の視聴も行われました。さらに、推進校で実施していただきたいアンケート調査についての説明も行われました。

続いて、体育館に移動した後、岩手県文化スポーツ部の佐藤氏を講師として、パラリンピック競技体験（ボッチャ、ゴールボール）が行われました。佐藤氏より、ルール説明や用具の紹介が行われた後、実際に6つのグループに分かれてボッチャ体験が行われました。



岡田研究員



パラリンピック競技体験

休憩の後、岩手県文化スポーツ部の小野寺氏より、出前授業の取り組みやホストタウン構想（20市町村）について情報提供が行われました。

最後に、推進校の担当者に地区ごとに分かれていただき、各推進校の実践計画の検討を行いました。その際、各グループに各地区の教育事務所の方に進行役として参加していただくことで、地域内の推進校の連携を図りました。各グループでは、各推進校の目標を元にオリ・パラ教育の目標を選択し、そのうえで各推進校の実態に即してどのような取り組みが可能か、という点について意見交換が行われました。

岩手県におけるオリ・パラ教育のスタートとなる有意義な時間となりました。



意見交換・協議①



意見交換・協議②